

2020年  
教室だより  
11月号



公文式  
本市場教室・横割教室  
ゆきこくもん 検索  
<http://www.yukiko-kumon.com>

公文式本市場教室 火3時~7時 木2時30分~6時30分  
TEL 61-4936(上平方)  
横割教室 月・水3時~7時 携帯090-2260-0671  
Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com  
携帯FAX:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp  
指導者:新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

## 【公文式は「働く姿勢」に通じる力を育てる】②

前回から公文式が育む力についてシリーズでお伝えしています。「公文式を導入している中学校」と、「公文式や他の民間教育を導入していない中学校」を対象にした研究では、学校の授業内容の習熟度を測る「学習習熟度」のテストで、中1の入学時点では公文式を導入していない中学校のほうが高かった得点も、中2・中3と上がるにつれて、公文式を導入している中学校のほうが上回るようになりました。「学習習熟度」の他にも、「処理力」「思考力」「修正力」という3つの能力において、伸びを示す結果が出たのです。そしてそれらの力は将来、子どもが大きくなった時に「働く姿勢」にも通じると共同研究者から評価されました。今回からこの3つの能力を1つずつ解説します。

1つ目の「処理力」とは、作業できる量とスピード、一定時間継続して作業ができるようになる力のことで、公文式の学習を通じてこれらが向上することがわかりました。共同研究者によると、この「処理力」は、「多くの作業を集中して着実に処理する姿勢」につながり、それは、将来仕事を遂行する場面で、仕事に対する「熱心さ」や「仕事への情熱」などにもつながっていくとのこと。

今回は2つ目の「思考力」についてお伝えします。

## 公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

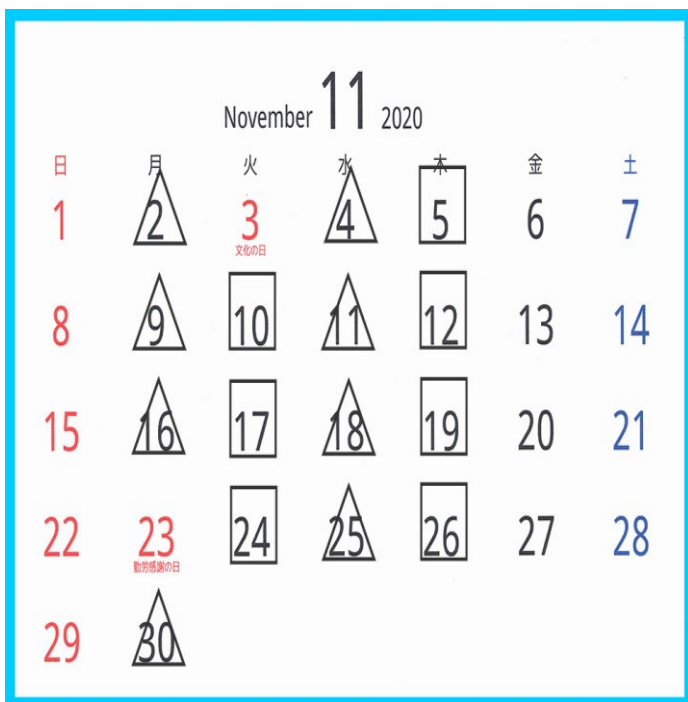
### “「自習」こそが勉強の基本”

公文式でいうところの「自習」とは、自ら進んで勉強し、自力で問題を解くばかりではなく、その答えが正しいかどうかをチェックして、誤りがあれば自分で訂正できることまでを含めたものです。

よく保護者の方は「この子は言われないと勉強しない」と言われますが、自習ができるようにするための最初のステップは「自分でらくにできる」という経験を持たせることです。

公文式は学年相当に関係なく「自力でできる」ところを学習するので、子どもは「やればできる」という喜びを味わうことができます。「できる」ことを積み重ねると自信がついてきて、自ら学ぶ姿勢が身についてきます。らくにできて楽しいから「次にどんな新しいことがあるのだろう、早く知りたい」と思うのです。

やさしいところを集中して必要なだけ十分に学習することで、自習で進んでいくための土台をがっちり固めるのです。



本市場教室日□  
横割教室日△

### 保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

11月分の会費引き落としは10月28日(水)です。よろしくお願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までに申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願います。

\*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

コロナ禍で密を避け、ソーシャルディスタンスさせていますことご了承ください。

## \*ゆき子の一言コラム

公文式の疑問に答える

\*才能がなくて、いくらやってもだめな子もいるのでは？

わが子を優秀にしようとは思っても、やはり、子どもが持って生まれた才能というものがあると思います。才能がなくて、いくら努力しても、効果が上がらないのではないのでしょうか。

「いくら、なにになにしても」という表現を聞く機会がよくあります。私はそのたびに、このように思います。

「いくら」とは、どれだけの回数をさしているのだろうか。

そして、いま、しているものがはたして、その子どもの現在の学力に適しているものなのかどうかと。

子どもたちの伸びていく程度は、与えられる教育の方法が、子どもたち一人ひとりに合ったものであるかどうかによって大きく変わってきます。

その子どもの現在の「持っている学力」と「伸びていく可能性」をはからず、何歳であるから、何年生であるからとして、カリキュラムを一方向的に与えるならば、それこそ「いくら」努力しても、実を結ぶことは、難しいことだと言えるでしょう。

子どもたちの努力にこたえられる教育の方法を考えるならば、やはり、一人ひとりの子どもをよく見て、そして、その子のいまの力に合わせて、何を与えるべきかを細かく決めていく教育だと言わざるを得ません。

私は、その方法を41年という長きにわたって模索してきました。

私の始めた公文式は、まず、入会した子どもたちの学力を見ることから指導を始めます。

学力診断テストを行い、その結果をもとに、学年に関係なく、その子がらくらく100点をとれるところから学習を始めます。学習の喜びを知り、学習習慣を形成し、その後の学習に進むはずみをつけるためにも、答えを導くのに苦労を必要としない学習箇所が、いま、その子に最も合ったところなのです。

それから先へと学習を進めていく際も、先の学習を円滑に進めていけるかどうかを確かめるために、現在の学習箇所への習熟度合いをチェックしながら進めていきます。

自分に「ちょうど」の字習を進めていると、子どもたちは、学んでいる事柄そのものができるようになるだけでなく、それ以外のこともどんどんと吸収する力が高まってきます。自信がつき、なにごとにも意欲的積極的になる。

それがよい結果に結びついて、さらに自信がつくという好循環のなかで子どもたちは才能を開花させていくのです。健常児だけではなく、ダウン症、自閉症など障害を持った子どもが、自分の学年相当を越えて、高い学習内容まで進んだ例も、公文のなかでは、少ないことはありません。

「生まれつき頭がいい」と言われる子どもも、遺伝的に優れているというより、乳幼児期によい環境をつくったお母さんやお父さんの努力の成果なのだと思います。

そのような子どもは、語りかけや、歌や本の読み聞かせ、数唱などの豊富な環境に置かれていたというケースが多いのです。

持って生まれた才能に、それほどの差異があるとは思いません。

子どもたちの伸びは、やはり教育の仕方によって決まる、これが41年間の経験を経た私の実感です。

ですから、「うちの子どもには才能がない」のではなく、いままでに、子どもに「ちょうど」のものを与えてこなかったのではないかと反省されて、適切な教育の機会をお与えいただきますようお願いいたします。

## コロナウィルスが蔓延(まんえん)しています

### 教室でのお願い

教室へ来る前に家で体温を測りましょう！

体温が37.5℃以下なら大丈夫です。体温がそれ以上の人は公文をお休みして在宅学習をお願いします。

教室へ入るときは、必ず「**マスク**」をしてください。ない人は申し出ただければマスクを差し上げます。

コロナ禍対策でソーシャルディスタンスの為、座れる人員が限られています。

公文のプリントが終了した人は、次の人に席を譲ってあげましょう。

宿題は席に余裕があればやってもいいですが、密となるような状態なら次にやる人の為にも帰っておうちでやってください。最長でも1時間30分、だらだらとやっている人は直ぐ退席してもらいます。

①はきものはきちんとそろえよう！ ②あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！

③もちものには なまえ をかきましょう！

④でんわをかりたら かならず でんわ代10えんいれてください！

横割教室の駐車場を探しています。

週1回(月曜のみ、月が祝日の場合は水)

3時~6時の3時間のみ